更新 SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　事業者名：株式会社　前田産業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿を社員に説明している。又、社員は、その経営理念をよく理解し、帰属意識を持ち邁進している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		社員一人ひとりが法令遵守の重要性を理解し、解体工事及び産業廃棄物処理業において法令に則り業務を遂行している。 社内勉強会を定期的に行い関係法令を遵守する体制を構築している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社として公正な取引に努め、社員に対しその重要性を説明している。物品購入及び仕事の発注については、3社見積もりを取り、公正な取引を徹底している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		業界のリーディングカンパニーとして担う企業責任を十分理解し、事業活動が社会に及ぼす影響を把握し、担当者を置いて組織体制を整えている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産権を侵害することのないように事前にチェックを行い、その保護に取り組んでいる。 社内勉強会の場において知的財産の取り扱いについて説明している。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		情報漏洩については、定期的に社員にその重要性を説明している。 情報漏洩対策として、システム管理の強化、セキュリティの強化及び厳重な保管管理を徹底している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		解体現場の近隣の皆様とのコミュニケーションを図るため、又現場稼働中近隣の皆さまが平常通りの生活が補償されるよう、アンケートを実施し、現状把握をし、業務改善に繋げている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	倫理面において、特にハラスメント防止対策には力を入れ取り組んでいる。毎月社員にハラスメントに関するヒアリングを行い、風通しの良い環境作りを行っている。又協力会社への対応についてもハラスメントのないようお互いを尊重し合い業務を行うよう指導している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を行っている。差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めていると同時にハラスメント禁止については社内掲示等で啓発し、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		労働安全衛生法に則った社員教育を徹底している。県内は元より県外に至っても事故を防ぐため、パトロールに赴いている。熱中症警戒アラートをこまめに全社員へ発信すると同時に熱中症アラームバンドを装着させ、熱中症対策を強化している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		経営層がこれを十分理解し、すべての従業員に対し、公正な待遇を行っている。公正な人事評価制度を設けている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		完全週休二日制の導入や年次有給休暇の取得奨励を行い、働きやすい職場環境の整備を行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		必要経費は会社負担とし、希望する外部研修の受講を奨励している。 又、各種資格取得の費用についても、全面的に会社でバックアップし、資格取得の報奨金制度を整備している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		インフルエンザ予防接種・人間ドック・大腸検査の費用はすべて会社負担とし、社員の健康を維持、病気の早期発見ができるよう整備している。又、社員の健康増進及び生産性の向上を目指し、社内喫煙率を下げる取り組みを行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		昇進、昇格等に人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 外国人や障害者の雇用を行い、十分に活躍できる環境を整備している。又高齢者の持つノウハウを遺憾なく発揮できる環境を整備している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	テレワーク規程を整備し、コロナが5類に移行した後も柔軟な働き方として必要に応じてテレワークを継続。管理者会議をはじめWeb会議を継続的に行い、移動にかかる時間を削減し生産性の向上に取り組んでいる。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	社員へタブレットを支給し、WEB会議、情報共有等を行う環境を整備している。ICTを駆使したライブカメラを導入し、解体現場を事務所から監視し、安全を見守るシステムを構築している。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

更新 SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　事業者名：株式会社　前田産業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ISO14001環境マネジメントを取得し環境問題に取り組んでいる。 廃棄物の適切な処理およびリスク管理の徹底に取り組んでいる。 有害物質を無害化し、ゼロエミッションに取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		ガソリン車からハイブリッド車へ変更し、エネルギー使用量を算出している。蛍光灯使用からLEDライトに変更し、エネルギー使用量を算出し、その削減に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		社屋にECOネットシステムを導入し、電気の見える化に取り組んでいる。電力使用量をCO2排出量としてデータ取りし排出量管理簿を作成している。昼休み時間中の消灯、社屋に人感センサーライトを採用し、CO2排出抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業所構内や周辺の緑化や美化活動に取り組んでいる。又、各現場においても現場内から出る際は、車両のタイヤを洗浄及び現場で入り口付近の清掃を徹底することにより、環境に悪影響を及ぼさないよう徹底している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		処分場において資源利用の削減や再利用に取り組んでいる。有害な繊維構造を消して無害化し、無害化された物質は建設や土木の資材として有効活用して、住み良いまちづくりに寄与している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		解体現場において発生した汚水、又は流出したオイル等は環境法令に則り適正に処理することにより、水資源の保全に取り組んでいる。 社員への節水意識向上の呼びかけを行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		事務用品の購入の際、グリーン品の購入を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	会社行事の会食の際は、3010運動を呼びかけ実行している。 全社員に周知しフードドライブに参加している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	建設廃材に含まれるプラスチックの分別を確実に行い、その適正処理に取り組んでいる。上天草市と連携し、川から海への流出物（流木等）の受け入れを行い、海洋汚染の防止削減に貢献している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	ガソリン車からハイブリッド車への切り替えを行うことにより、環境にやさしい自動車の使用を促進している。 排ガス低減の為、作業現場へ乗り合わせにより移動している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新 SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　事業者名：株式会社　前田産業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		業務上想定されるリスクに対して各現場の手順書を基に、事前の検討会実施を徹底している。 現場近隣住民の方へアンケートを実施し、関係者で共有し、出された意見に真摯に向き合いより良い安全性や品質の確保に取り組んでいる。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		社屋建設において、すべての人の利便性を考え、社屋玄関にスロープの設置を行っている。又、バリアフリーを採用し、多様な利用者に配慮した多機能トイレ、エレベータを完備している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	人体に有害な物質を検知する特殊機材（アナライザー）を現場に常備している。環境関連法を遵守し『環境事故ゼロ』を目指し、社会課題の解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		各地不法投棄清掃ボランティアへ参加している。 国道3号線沿いの落ち葉清掃活動を実施している。 定期的な献血活動への協力している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		事務所他ハザードマップを掲示し、従業員へ周知し防災意識を高め、定期的に避難訓練を実施している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	会社構内にAEDを設置し、AED使用に関する知識向上及びロールプレーを通じて実践に活かせるよう訓練を行っている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	職場体験の受け入れを積極的に行っている。 中学生を対象に配布されている『発見・たんけん！熊本県』に情報提供を行い、現場見学を行う体制を整備している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	県内高校を積極的に訪問し、採用活動を行っている。 社員のつながりを生かしたスカウト制度により地元の若者を積極採用をしている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。